

令和4年度事業実施報告書

I 事業実施概要

令和4年度においては、「一人ひとりが主役、共に支えあい、安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として、「広げよう近助の輪、おこそう地域福祉の風」をスローガンに掲げ事業を推進してまいりました。

支援が必要な方々に対する総合的な相談・支援機能が発揮できるよう、地域包括支援センター事業、生活困窮者自立支援事業、権利擁護センター事業、福祉サービス利用支援事業、相談支援事業、資金貸付事業等の推進を図りました。なかでも、相談が増加しつつある権利擁護センター事業や福祉サービス利用支援事業と並んで法人後見事業にも取り組み、権利擁護に関する事業の充実に努めました。また、法人後見事業についても、新規の受任や相談も増加しています。

生活支援体制整備事業では、支え合いマップづくりや地域の支え合い体制づくりに力を入れ、町外のおたすけ隊との情報交換も進めました。

このような事業を推進するに当たりましては、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、社会福祉関係団体、福祉施設、行政等との連携を密にし、公私協働・住民参加による地域福祉の推進を図りました。

介護保険事業、障害福祉サービス事業等、事業経営の安定化を目指すと同時に、地域福祉推進事業との融合による、さつま町の福祉の向上に努めてまいりました。なお、居宅介護支援事業所については、経営状況等を検証した結果、令和5年3月21日をもって廃止といたしました。

さつま町社会福祉法人連絡会では、レスキュー事業等により、地域の福祉課題や生活課題の解決に取り組み、支援を必要とする方々に、無料又は低額な料金での福祉サービスを提供するよう努めました。また、福祉人材確保の観点から、今年度からさつまるふくしまルシェとの合同開催による福祉の職場就職面談会も実施し、各事業所の広報にも努めました。

Ⅱ 基本目標

- 1 法人運営の充実・強化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 高齢者福祉活動の推進
- 4 障がい者（児）福祉活動の推進
- 5 児童福祉・母子寡婦福祉活動の推進
- 6 ボランティア活動の推進
- 7 介護保険事業の推進
- 8 権利擁護事業の推進
- 9 一般乗用旅客自動車運送事業（福祉タクシー事業）の推進
- 10 地域包括支援センター事業の推進
- 11 生活困窮者自立支援事業の推進
- 12 その他

Ⅲ 事業実施報告書

1. 法人運営の充実・強化

（1）役員会等の開催

①理事会 3回開催

第1回理事会

〔期日〕令和4年6月7日（火）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和3年度事業報告、令和3年度社会福祉事業会計、公益事業会計決算の承認、監査報告、第1回評議員会開催

第2回理事会

〔期日〕令和4年12月13日（火）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和4年度における指導監査結果報告、専決処分の承認、令和4年度事業実施状況報告、さつま町居宅介護支援事業所の廃止、令和4年度補正予算（第2次）、令和4年度第2回評議員会の開催

第3回理事会

〔期日〕令和5年3月14日（火）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和4年度補正予算（第3次）、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算、令和5年度短期借入金、役員等賠償責任保険契約、令和4年度第3回評議員会の開催

②評議員会 3回開催

第1回評議員会

〔期日〕令和4年6月21日（火）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和3年度事業報告、令和3年度社会福祉事業会計、公益事業会計決算の承認、監査報告、理事の選任

第2回評議員会

〔期日〕令和4年12月22日（木）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和4年度における指導監査結果報告、専決処分の承認、令和4年度事業実施状況報告、さつま町居宅介護支援事業所の廃止、令和4年度補正予算（第2次）、

第3回評議員会

〔期日〕令和5年3月23日（木）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和4年度補正予算（第3次）、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算

③監事会

第1回監査（社協監事）

〔期日〕令和4年5月23日（月）

〔場所〕ひまわり館

〔内容〕令和3年度事業報告・収支決算

研修

北薩地区社会福祉法人ブロック別監事等研修会

〔期日〕令和4年11月30日（水）

〔場所〕薩摩川内市

〔参加者〕上間監事

④ さつま町社会福祉法人連絡会

第1回監事会

〔期日〕 令和4年6月9日（木）

〔場所〕 会長室

〔参加者〕 島子監事、会長、事務局

〔内容〕 令和3年度事業報告及び決算報告、その他

第1回連絡会

〔内容〕 書面開催

（1） 令和3事業報告及び決算報告、監査報告

（2） 令和4年度事業計画及び予算

（3） 集団就職面談会

（4） 承認結果

14法人中14法人全法人が承認

福祉関係職場就職面談会

〔期日〕 令和4年7月21日（木）

〔場所〕 ひまわり館

〔参加法人〕 クオラ、ひいらぎ会、宮之城ひまわり会、社協

〔ふくしまルシェ参加事業所〕 株式会社夢の杜、工房たけん子

NPO法人トポスみんなね、一般社団法人治

〔実績〕 利用者22名

第1回役員会

〔期日〕 令和5年3月1日（水）

〔場所〕 おもいやり室

〔参加者〕 会長、副会長（湯下氏、永田氏）、監事（城森氏、

島子氏）事務局

〔内容〕 令和4年度レスキュー事業経過報告

令和4年度決算（見込）

令和5年度事業計画に向けた検討

福祉の職場就職面談会

年会費（令和5年度は徴収見送り）

社会福祉施設永年勤続表彰

神上園鈴子さん（鶴宮園）

吉留睦子さん（ 〃 ）

大園嘉子さん（ 〃 ）

第2回連絡会

〔内容〕 書面開催

第1回役員会で協議した案件について承認を問う

14法人中14法人全法人が承認

(2) 広報活動の充実

① 広報誌「広報さつま町ふくし」3回発行（6月、9月、1月）

全戸配布

② ホームページによる広報

(3) 心配ごと相談所の運営（一部町委託）（14頁）

心配ごと相談所を毎週木曜日、午前10時から正午まで、宮之城ひまわり館相談室において開設しました。相談員はくらし・しごとサポートセンターの職員6名で対応し、年間49回の開設で13件の相談がありました。

また、弁護士による無料法律相談を年12回開催し、57件の相談を受けました。

(4) 関係機関・団体等相談活動への参加、連携

宮之城ひまわり館で行われる行政相談日に、行政相談員と連携して相談活動に当たりました。また、相談内容により、県消費生活センター、日本司法支援センター（法テラス）等との連携を図りました。

(5) 宮之城ひまわり館の管理運営（町指定管理）（15頁）

(6) 老人福祉センター「いぬまき荘」並びに郷土文化保存伝習館の管理運営（町指定管理）（16～21頁）

2. 地域福祉活動の推進

(1) 生活支援体制整備事業（町委託）（22～23頁）

生活支援コーディネーターを宮之城、鶴田、薩摩地区ごとに配置し、地域福祉活動推進委員と、情報交換も行うことができました。今後の地域での生活支援の体制整備についても継続協議を行いました。

た。

また、地域福祉活動推進委員会を実施し、地域活動計画の中間評価を行いました。白男川お助け隊、神子区の活動について県社協から取材を受けました。永野サンスマイルお助け隊と長島町汐見ちよこっとお助け隊の交流活動も行いました。

(2) 地区社会福祉協議会活動の推進 (24頁)

20地区社会福祉協議会へ活動助成金として2,907,300円の助成を行い、地区社協活動の推進・強化を図りました。

(3) 支え合いネットワーク互助事業 (25頁)

地域生活応援員6名が、日常生活上のちょっとした困りごとの支援として高齢者7名に対し、延べ96回(78時間)、病院への付き添いや家事援助等の活動を行い、在宅で安心・安全に暮らせるよう支援を行いました。(令和3年度76時間)

(4) 地域見守りネットワーク支援事業(町委託)(26～29頁)

地区社会福祉協議会において各公民会ごとに、民生委員、在宅福祉アドバイザーを含めた地区推進会議により要援護者の選定等を行い、一人暮らしや高齢者夫婦世帯、障害者世帯等の安否確認を推進しました。支え合いマップづくりでは、新規に9公民会、見直しが12公民会で取り組まれました。

また、東谷団地におけるライフサポートアドバイザー事業も実施いたしました。

見守り対象者 1,109人(令和3年度1,103人)

(5) 民生委員児童委員協議会との連携強化

民生委員と連携して相談事業、貸付事業等を実施し、生活福祉資金民生委員実費弁償費として276,000円を補助いたしました。

また、役員会並びに各支部主催の研修会へ参加しました。

(6) 生活福祉資金貸付事業(県社協委託)(30頁)

鹿児島県社会福祉協議会の委託事業として、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等の方々に対する貸付の相談及び償還指導を行いました。

(7) 法外援護資金事業(30頁)

低所得世帯に対し、50,000円を限度とした無利子の貸付及

び償還指導を行いました。

3. 高齢者福祉活動の推進

(1) 高齢者ふれあいいきいきサロン活動の推進(町委託)(31～33頁)

地区社協、公民会、ボランティア、民生委員等と連携しサロン活動の新規設置と充実に努めました。令和4年度末で、67ヶ所のサロンで活動中です。また、休止のサロンが5ヶ所となっています。年間活動費として10,000円の助成を行いました。

(2) 高齢者クラブ連合会活動の推進

町高齢者クラブ連合会に対し運営の協力支援を行い、運営補助金として100,000円が町共同募金委員会から助成されました。

(3) 敬老事業の推進

各地区社会福祉協議会が主催し、各地区で敬老会を実施されました。地区社会福祉協議会への活動費助成と、90歳到達者の206名に記念品を贈りました。(令和3年度は174名)

(4) 福祉給食サービス事業の実施(町委託)(34頁)

毎日型のサービスで、年間55,691食を配食しました。
(令和3年度61,798食)

4. 障がい者(児)福祉活動の推進

(1) 相談支援事業(町委託)(35頁)

相談支援専門員2名を配置し、障がいのある方々及びその家族の相談・支援を行いました。

請求件数113件(令和3年度99件)

(2) 特定相談支援事業

さつま町障害者相談支援センターに、相談支援専門員2名を配置し、障がいのある方々が可能な限り居宅において、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう配慮し、障がいのある方々の選択により、心身状況、その置かれている環境等に応じ適切な保健、医療、福祉、施設等多様なサービスを、事業所との連携を行いながら、総合的かつ効果的に提供されるよう配慮した支援を行いました。

利用者 35 名（令和 3 年度 33 名）

（3）障がい者（児）福祉団体の育成・支援

町身体障害者福祉連絡協議会並びに町手をつなぐ育成会へ、それぞれ 100,000 円、若竹会に対し 10,000 円の運営補助金を町共同募金委員会から助成し、協力支援を行いました。

（4）居宅介護事業

身体障がい者 5 名（令和 3 年度 4 名）、知的障がい者 1 名（2 名）、精神障がい者 9 名（10 名）、難病 1 名（1）合計 16 名（17 名）

（5）障害者訪問入浴サービス事業（町委託事業）

対象者：3 名（令和 3 年度 3 名）、実施回数：231 回（188）

（6）移動支援事業（町委託）

対象者：4 名（令和 3 年度 3 名）、実施回数：118 回（136）

5. 児童福祉・母子寡婦福祉活動の推進

（1）母子寡婦福祉団体の育成・支援

町母子寡婦福祉会に対し運営の協力支援を行い、運営補助金として 100,000 円が共同募金委員会から交付されました。

（2）福祉教育の推進

小・中学校の総合的学習の時間及び薩摩中央高等学校の介護実習等において、関係機関の協力をいただきながら職員を派遣し、福祉についての講義を行いました。

小学校 4 回（令和 3 年度 2 回）、中学校 1 回（令和 3 年度 1 回）

6. ボランティア活動の推進（町補助）（36～38 頁）

（1）ボランティアセンター機能の充実及びコーディネーター活動の充実

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンター機能の充実に努めました。

(2) ボランティア個人・団体の育成、支援

本年度も、個人ボランティア20人（令和3年度17人）、団体ボランティア36団体986人（令和3年度37団体964人）の登録があり、ボランティア活動の為に保険加入、相談、斡旋等を行いました。

(3) ボランティア連絡会

〔期日〕令和5年3月8日（水）

〔場所〕いきいき学習室

〔参加者〕18名

〔内容〕令和4年度活動実施報告、団体ボランティア登録、ボランティア名簿、ボランティア保険等について

(4) ボランティア協力校の指定・支援

今年度は23校を指定しボランティア活動の推進に当たり、活動費として小・中・高校、保育園・認定こども園に助成を行いました。

助成額については、保育園・認定こども園が10,000円、小中高校については、児童生徒数により20,000円から40,000円です。

(5) ボランティア養成講座

〔期日〕令和5年2月10日（金）

〔場所〕いきいき学習室

〔参加者〕36名

〔内容〕演題「ボランティアに必要な傾聴について」

講師「NPO法人ルネスかごしま 代表 谷川勝彦氏」

(6) 福祉ボランティア体験学習

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本年度は中止

7. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業所の運営

在宅介護者に対し、要介護認定申請・更新申請に係る手続き代行、居宅介護サービス計画の作成を行い、居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮した支援を

行うことを目的として実施しました。

尚、令和4年9月1日から活動を休止し、令和5年3月21日をもって廃止といたしました。

(2) 訪問介護事業所の運営

在宅要介護者に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護、その他の生活全般にわたる援助を行うことを目的に実施しました。

【令和5年3月末現在】

訪問介護員（常勤） 2名（介護福祉士2名）

（登録） 12名（介護福祉士7名）

利用者数 61名（令和4年3月末、58名）

（介護29名、A2 4名、A3 28名）

（介護度別内訳）事業対象者：4人、要支援1：11

名、要支援2：17名、要介護1：13名、

要介護2：7名、要介護3：3名、要介護4：

4名、要介護5：2名

(3) 訪問入浴介護事業所の運営

在宅要介護者に対し、移動入浴車を利用した入浴サービスの提供を行うことにより、自立した日常生活、衛生状態の確保、介護者の負担軽減を図ることを目的として実施しました。

【令和5年3月末現在】

責任者（常勤看護師） 1名

看護師（非常勤） 2名

介護職員 訪問介護事業所との兼務により実施

利用者数 9名（令和4年3月末、7名）

（介護度別内訳）要介護3：1名、要介護4：6名、

要介護5：2名

8 権利擁護事業

さつま町権利擁護センターを設置し、判断能力が十分でない高齢者や障がい者並びにその家族等に対して、成年後見制度をはじめとする制度等の紹介や利用の支援、意思決定支援などの業務を行い、福祉サービス利用支援事業と連携を図りながら権利擁護の推進を図りました。

また、法人後見事業も実施し事業を推進してまいりました。

(1) 運営委員会

〔期日〕 令和4年11月15日（火）

〔場所〕 いきいき学習室

〔参加者〕 17名

〔内容〕 令和3年度活動実報告並びに決算報告、令和4年度事業計画並びに予算、法人後見事業について

(2) 権利擁護センターへの相談及びその他活動（39頁）

60件（令和3年度58件）

(3) 法人後見事業

受任審議会 1回開催

受任件数 2件（令和3年度2件）

(4) 福祉サービス利用支援事業の推進（県社協委託）（40頁）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等判断能力が不十分な方に対し、日常的な金銭の管理や福祉サービスの利用支援を行うために、生活支援員を派遣し、生活支援を行いました。

契約者数 40名（新規契約11名、解約・終了10名）
（令和3年度39名）

生活支援員 6名

利用料 1回1,200円（生活保護世帯は無料）

9. 一般乗用旅客自動車運送事業（41頁）

自由契約者の確保に努めるとともに、介護保険事業との連携を深め、事業の推進に努めました。

自由契約登録者 215名（令和3年度217名）

10. 地域包括支援センター事業（町委託）（42～45頁）

地域包括ケアシステムの構築、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談事業、権利擁護事業、高齢者虐待への対応、消費者被害の防止、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症初期集中支援事業、認知症施策総合事業等を実施しました。介護事業者、医療機関、民生委員、ボランティア等の関係者とネットワークの構築にも務め、町と

連携し事業の実施に当たりました。

11. 生活困窮者自立支援事業（県委託）（46頁）

生活困窮者の課題は多様で複合的であるため、制度の狭間に陥らないよう、幅広く受けとめ、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族の問題等多様な問題に対して、地域の関係機関・関係者と連携しながら支援しました。

また、町民の方々へ「さつま暮らし・しごとサポートセンター」という名称で広報に努め、鹿児島県並びに北薩地域振興局、さつま町、地域包括支援センター、ハローワーク、無料職業紹介所等との連携を深め、支援調整会議も開催しました。

- (1) 自立相談支援事業
- (2) 就労準備支援事業
- (3) 一時生活支援事業
- (4) 家計改善支援事業
- (5) 子どもの学習・生活支援事業
- (6) 生活困窮者自立支援機能強化事業

12. その他

(1) 無料職業紹介事業

就職斡旋実績0件。(令和3年度0件)

(2) 共同募金事業

令和4年度 募金実績

	一般募金	歳末たすけあい募金
目標額	3,800,000円	750,000円
実績額	3,710,618円	701,900円
達成率	97.6%	93.5%

家屋火災による災害見舞金配布3世帯。(令和3年度2世帯)

(3) 日本赤十字社事業

令和4年度 会員増強運動実績

	会費額	備考
目標額	2,892,000円	
実績額	3,450,003円	
達成率	119.3%	

家屋火災による災害救援物資配布 3 世帯。(令和 3 年度 2 世帯)

(4) 飲料水自動販売機の設置

設置場所

B & G 海洋センター内 1 台 宮之城ひまわり館内 2 台
総合体育館屋外 1 台

(5) 車いすの貸出し

個人 5 1 名 (5 1 台)、団体 2 団体 (7 台) へ無料貸出しを行いました。

(6) さつま町社会福祉大会の開催

町及び町教育委員会と共催し第 18 回さつま町民大会の一環として、第 18 回さつま町社会福祉大会を開催しました。フリーマーケットの出店、日赤災害救援物資の展示も行いました。

〔期日〕 令和 5 年 2 月 19 日 (日)

〔場所〕 宮之城文化センター

【社会福祉事業功労表彰】

氏名	地区	従事年数	主な功績の概要
迫田マサ子	宮之城屋地	9 年	民生委員・児童委員として、永年にわたり地域福祉の向上に貢献されている
角 道子	平川	9 年	
松山まち子	佐志	9 年	
小川政徳	二渡	9 年	
若松三千代	鶴田	9 年	
濱島勝子	神子	9 年	